

新 ふくしま地域産業6次化戦略（概要版）

第1章 戦略の概要

戦略策定の趣旨 東日本大震災等による情勢変化を踏まえ、復興を加速化する観点から、地域の多様な主体が一体となって地域産業6次化に取り組むための新たな指針として策定する

本戦略の特徴 ■ 現場からの出発 ■ 幅広い分野を対象
■ 多様な主体の連携による相乗効果を重視
■ 頑張る人を応援 ■ メリハリのきいた支援

本戦略の期間 平成27年度～平成32年度（6年間）

＜本戦略における「地域産業6次化」の考え方＞

本県の豊かな農林水産資源を基盤として、1次・2次・3次の各産業分野において、多様な主体が自らの強みを生かして他産業にも分野を拡大し、または相互に連携・融合しながら付加価値を向上・創造する取組。農林水産物の加工や、観光との連携による新サービスの創出、海外販路開拓の取組など、農林水産資源に新しい付加価値を付ける取組を幅広く含む。

第2章 地域産業6次化をめぐる情勢

＜社会情勢の変化＞

- ◎ **東日本大震災及び原子力災害の発生**
 - ・農林水産物の出荷制限、沿岸漁業の操業自粛
 - ・風評による県産品の買い控え
 - ・復旧関連分野への求人の偏り
 - ・農山漁村への教育旅行の減少 等
- ◎ **農林水産業をめぐる情勢**
 - ・農産物価格の低迷、担い手の減少
 - ・安全・安心に対する意識の高まり
 - ・健康をキーワードとする食への関心の高まり 等
- ◎ **商工業をめぐる情勢**
 - ・厳しさを増す企業の経営環境
 - ・観光ニーズの多様化 等
- ◎ **社会環境をめぐる情勢**
 - ・TPP交渉への参加
 - ・和食の国際的注目度の高まり
 - ・6次産業化法の施行 等

＜本県農林水産業・商工業の特徴＞

- ◎ **多彩な農林水産物**
 - ・全国3位の広大な県土面積
 - ・浜通り、中通り、会津地方の地域性豊かな農林水産業の営み
- ◎ **特色ある観光資源**
 - ・自然や歴史など、豊かな観光資源
- ◎ **大消費地に隣接する地理的条件**
 - ・物流面や交流人口の拡大に有利
- ◎ **地域を支える食品産業**
 - ・古くから日本酒製造業、味噌・醤油製造業等の食品製造業が地域に密着
 - ・日本酒製造業は全国トップクラス
- ◎ **地場産品の販売機会の拡大**
 - ・量販店等の地場産品コーナーの充実
- ◎ **被災地を応援する動きの拡大**
 - ・県産品の応援企業が全国的に増加

第3章 実践者等との意見交換から明らかになった課題

＜地域資源の有効活用と高付加価値化＞

- ◎ **地域資源の安定確保と加工体制の整備**
 - ・地域ならではの農林水産物の生産量が不十分
 - ・地域内で1次加工し、原料として供給する体制が不十分
 - ・少量の加工を行う事業者が県内でみつからない
- ◎ **売れる商品づくり**
 - ・風評の影響もあり、売上げが伸びない
 - ・消費者のニーズを的確に捉えることが必要
 - ・商品の独自性の強化による訴求力の向上が必要

＜人材の育成・確保と経営体質の強化＞

- ◎ **地域で活躍する人材の育成**
 - ・地域資源をコーディネートできる人材が不十分
 - ・研修場所が遠方で受講が難しい
 - ・生産者や加工グループの高齢化が進んでいる
- ◎ **事業展開に向けた支援の充実**
 - ・補助制度等の活用後、売上げが期待どおりに伸びていない
 - ・課題解決のため、様々な専門家からの意見が必要

＜地域ネットワーク力の強化と絆づくり＞

- ◎ **情報の共有化と人的ネットワーク化の推進**
 - ・事業連携のパートナーが見つからない
 - ・マッチングに向けたデータベースの充実が必要
- ◎ **地域で支え合う絆づくりの推進**
 - ・生鮮農林水産物に加え、地場の加工品についても地元消費者が愛着をもって応援する機運が必要
 - ・加工品づくりの技術の次世代への継承が必要
- ◎ **観光との結びつきの強化**
 - ・原発事故の影響でグリーン・ツーリズムや農家民宿などの受入人数が落ち込んでいる
 - ・郷土食や農村空間の活用などにより、観光地としての更なる魅力向上が必要
 - ・お土産ニーズに対応した加工品の充実が必要

第4章 推進のための戦略

《基本コンセプト》

福島県の豊かな農林水産資源を基盤とし、様々な地域の力（人材、資源、伝統）を活用して、魅力ある商品・サービスを生み出す取組を活性化することにより、新生ふくしまを牽引する新たな地域産業を創出するとともに、加工技術や食文化が継承される活力ある地域づくりを目指します。

《目指す方向》

- ◎ **新たな価値をもたらす地域産業の創出**
～しごとづくり～
 - ・多様な主体の連携・融合による新商品開発、ブランド力強化
 - ・特色ある農林水産物を活用した食品加工体制の強化 等
- ◎ **地域産業を支える人材の育成と確保**
～ひとづくり～
 - ・地域産業6次化に取り組む実践者の発掘とスキルアップ強化
 - ・実践者の取組への支援制度の充実 等
- ◎ **「しごと」と「ひと」を結びつける地域ネットワーク力の強化** ～きずなづくり～
 - ・実践者の人的交流機会の創出など、マッチングの強化
 - ・地域全体で農山漁村や食文化を支える地産地消の推進 等

《目指す方向を実現するために～6つの推進方策》

農林水産資源を生かした魅力ある商品づくりの推進

- ◎ 加工等による農林水産物の高付加価値化の推進
- ◎ 魅力ある商品開発に向けた原材料供給体制の強化
- ◎ 食品加工技術の高度化への支援
- ◎ マーケットインの視点による商品開発の推進
- ◎ 新たな事業展開に必要な支援の強化

新たな担い手の育成・確保

- ◎ 地域産業6次化を担う実践者の養成
- ◎ 地域の核となるキーパーソンの養成
- ◎ 多様な担い手の地域産業6次化への参入支援
- ◎ 相談支援体制の充実

風評払拭、販路拡大対策の強化

- ◎ 食の安全・安心を確保する取組の徹底
- ◎ 販路拡大に向けた商談機会の充実
- ◎ 優良商品の認証による成功事例の創出
- ◎ 地元産食材の利用促進

輸出の再開・拡大対策の強化

- ◎ 輸入規制解除に向けた取組の強化
- ◎ 輸出対象地域の重点化による販路開拓の促進
- ◎ 関係機関と連携した輸出サポート体制の充実
- ◎ 輸出障壁の軽減・除去に向けた技術的支援体制の充実

観光等、関連分野との結びつきの強化

- ◎ 「食」をテーマとした着地型観光の推進
- ◎ 観光資源を活用した特産品の販売促進
- ◎ 農山漁村を活用したグリーン・ツーリズム等の展開
- ◎ 旅館、飲食施設等における地域の農林水産物の活用
- ◎ 農山漁村と関連分野との連携による新たな価値の創出

地域ネットワーク力の強化

- ◎ 産学民官の連携によるネットワークの強化
- ◎ 地域産業6次化関連情報の蓄積と発信
- ◎ 人材バンク機能の充実
- ◎ 地域産業6次化を応援する消費者機運の醸成

《リーディングプロジェクト

～目指す方向の実現に向け重点的に推進～

食品加工支援体制強化プロジェクト

- 県産農林水産物の特性に関する調査・研究
- 加工技術高度化に向けた研究、相談対応
- マッチングに向けたデータベースの充実
- 食の安全・安心確保に向けた研修等の充実

「福島ならではの」オンリーワン商品開発プロジェクト

- 売り先を見据えた売れる商品づくりを促進
- 特色ある農林水産資源の生産振興
- 成分分析を含めた技術相談体制の強化

輸出再開に向けた体制強化プロジェクト

- 本県特有の不利な輸出条件克服に向けた検討
- 保存技術、輸送技術等の研究・開発
- 輸出向け加工食品開発の促進
- 個別商談、市場調査等の販路開拓支援

地域の食と観光を活用した交流拡大プロジェクト

- 地域食材を提供する店舗の情報発信を強化
- 旅館、飲食施設等での地場食材の活用促進
- 観光客が求める土産品の開発支援

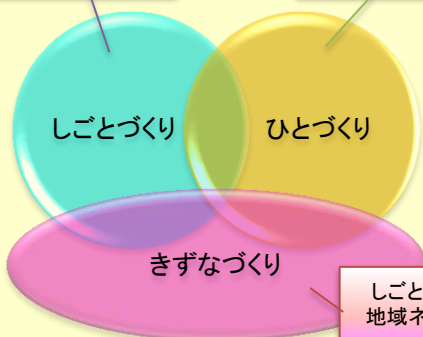
6次化による元気な地域づくりプロジェクト

- 地域ビジネスの核となる人材育成
- 都市と農山漁村の交流人口の拡大
- 地域の特産物を活用した健康増進の促進
- 6次化の取組を応援する消費者層の拡大

目指す方向を実現するために取り組む施策

新たな価値をもたらす地域産業の創出

地域産業を支える人材の育成と確保



しごととひとを結びつける地域ネットワーク力の強化

第5章 推進組織体制

- ◎ ふくしま・地域産業6次化推進協議会
- ◎ 地域産業6次化戦略会議
- ◎ ふくしま・地域産業6次化ネットワーク

県内関係機関等の長で組織する協議会を設置し、6次化の推進方策の検討等を行う推進協議会の実務者クラスを中心とし、6次化推進に向けた課題調整等を行う
県内6方部に6次化に取り組む実践者等による組織を設置し、異業種間交流の促進等を行う